

西日本新聞

婦人の新鋭投稿欄「紅玉」集
戦争とおはぎと
グリーンピース
書店で好評発売中 ● 山田信雄

2016年
12月18日
(日曜日)

医療機能評価機構 第1号認定病院
福岡県認知症医療センター
神経精神科 内科 (15テラス・井筒)
西宮夜校合格前
西宮夜校合格前
西宮夜校合格前
西宮夜校合格前
http://www.mind.or.jp

あす	あす	あす	あす	あす	あす	あす	あす	あす	あす
福岡	16	4	0	0	0	0	0	0	0
北九州	0	0	0	0	0	0	0	0	0
筑豊	15	0	0	0	0	0	0	0	0
筑後	0	15	0	0	0	0	0	0	0
佐賀	15	0	0	0	0	0	0	0	0
佐賀南	0	14	2	0	0	0	0	0	0
長崎北	14	0	4	0	0	0	0	0	0
長崎南	0	14	0	4	0	0	0	0	0

章書者差別解消法 理念遠く
チノレスに、定価低価格や、ワークを運営するサロエ

TAO × 竹田

文化芸術は街を元気にする!

TAOは今年国内最後となる公演「舞響」Bukyo踊る。W.A. 太鼓を12月27日(水)に、ichikyoクラシエタ(大分市)で行う。200を超える全国各地の公演を経て、アーティストが総出演して地元で締めくくるのだ。

年末の大公演は年間スケジュールの中で要の部分だ。大分に拠点を置くアーティストとして、最後はふるさとで締めくめたいという思いがある。それあきで全てのスケジュールを組んでいるほどだ。1年をかけて熟成された、極上の舞台を大分の皆さんに見てもらいたい。

今年には特に、大きな挑戦と変化を経た集大成の作品上演となる。

今年2月、長年の目標だった米プロドウェー初挑戦。全公演完売を記録し、客席は日本人ではなく地元ニューヨークで埋め尽くされた。ニューヨークからは「TAOは日本を売り込む顔になる!」と評価された。次なる夢の「TAOプロドウェー常設劇場、開設への糸口が見え始めた。

それから次なる舞台作品、演出家・宮本亜門さん演出のプロドウェー上演作品を経た次なる舞台のテーマを「今これまでにない、ハチャメチャなエンターテインメントショー」とした。根底には「かりとした日本の和装を置いて、いったいどこまでハチャメチャにできるか」と思い切りチャレンジした。大き

地元大分への特別な思い

な音を打ち鳴らすという風情な身体だけではなく、全身を使ったパフォーマンスをしなはらトラムをたたき、さらにドラムエクソマンチック、グと近未来的な衣装との融合という非常に難しいことを繰り返すうち、自分たちで



「TAOは日本を世界に売り出す」目標になる「世界を大分を繋ぐエンターテインメント集団!」と米ニューヨークも稼働した

久住雅 サンデーコロン

え想像できなかったエンターテインメント作品が出来上がった!

その作品完成への大切な要素のひとつが、アーティスト40人の一致団結した思い。制作途中に起こった熊本・大分地震の影響を受け、制作や稽古の環境はとて厳しいものだった。しかし逆をそれ乗り越えていこうという全員が思いが舞台の完成を加速させた。まさに艱難汝を玉にす。

そして、完成した舞台を目に染しみ、全国の皆さんに見せたい!という強い思いが幕が開いた瞬間から客席を一気にホットにするような勢いとなって表れた。亜門氏の非常に美しく感情的な舞台が一変、お客さまはきこひつくりしたことになる。全国で完売続出、最後はオルルスタンディングで若者男女が踊り出すという史上最高の瞬間を終え、大分公演に臨むのが本当に染しみだ。

毎年新作舞台を制作し、挑戦を続ける。そう思うのは、舞台を見て「最高に楽しんでくれるお客さまの姿を見る楽しめやうけれど、それから、その責任を背負ってほしい」という責任があるからだ。これから新作舞台を毎年創り続け、前年を超える舞台や活動展開をしていく。まずは2020年「プロドウェー」と東京に常設劇場をつくり、またTAOの里「竹田市久住町」近くにあるあまの台の「天空の舞台」の3拠点を完成させる。その先は、世界中の拠点が生まれ、それらを線でつなぐと世界地図ができあがるように、地球規模での展開を進めていく。

毎年、集大成の大分公演を見て、毎年成長を続けるTAOをぜひ見てほしい。地元大分に対する特別な思いがそこにあるから。

「又オ、エンターテインメント社長、藤高祐夫」

政府が進める元気な高齢者の地方移住(CCR)構想について、